

心臓血管外科学講座

A 欧 文

A-a

1. M. Takagi, T. Kugimiya, T. Fujii, H. Yamauchi, R. Shibata, M. Narimatsu, N. Tsuda: Extensive surgery for primary malignant lymphoma of the heart, *J. Cardiovasc Surg*, 33(5), 570-572 (1992) *

A-c

1. T. Kugimiya, M. Takagi, T. Fujii, H. Yamauchi, R. Shibata, M. Narimatsu, Y. Watanabe, H. Hashiyada, T. Yamada: Clinical Features of MNMS: Comparison of different etiologic groups, In: A. Matsumoto, M. E. DeBakey, J. Kondo, eds., *Advances in Cardiovascular Surgery. Proceedings of the 8th Congress of Michael E. DeBakey International Surgical Society*, Amsterdam: Elsevier Science, 335-336 (1991)

B 邦 文

B-a

1. 高木正剛、橋谷田博、釘宮敏定、黒岩正行、宮川尚孝、山内秀人、柴田隆一郎、成松元治、渡辺良子、太田タキ子、金村真智子、井上純子：開心術症例における非 A 非 B 肝炎発生防止策の検討、*日本輸血学会雑誌*、35(1)、16-20 (1989)
2. 高木正剛、釘宮敏定、黒岩正行、藤井卓、山内秀人、成松元治：部分体外循環による年長者動脈管開存症の手術、*日本心臓血管外科学会雑誌*、18(5)、684-685 (1989)
3. 高木正剛、釘宮敏定、黒岩正行、藤井卓、成松元治、渡辺良子、山口博一郎：腹部大動脈閉塞症手術例の検討、とくに高位閉塞例に対する外科治療の問題点、*日本心臓血管外科学会雑誌*、19(2)、243-245、(1989)
4. 山内秀人、馬場尚道、草場英介、松尾和彦、柴田隆一郎、松岡陽治郎：III b 型解離性大動脈瘤に対する瘤空置術後に permanent clamp 食道内穿孔をきたした 1 例、*外科*、52(2)、184-187、1990。
5. 高木正剛、宮川尚孝、藤井卓、山内秀人、柴田隆一郎、成松元治、渡辺良子、橋谷田博、山田卓史、山口博一郎、釘宮敏定、原田嘉英：膝窩動脈仮性動脈瘤の 2 症例、*日本臨床外科医学会雑誌*、51(11)、2526-2528 (1990)
6. 山口博一郎、古川正人、中田俊則、草野敏臣、林弛欽、田代和則、渡部誠一郎、藤尾俊之、城野英利、梯昭彦、高山隼人、宮崎哲真：胆道内圧を測定した原発性硬化性胆管炎の 1 例、胆膵の生理機能、6(1)、97-100 (1990)
7. 渡辺良子、釘宮敏定、高木正剛、藤井卓、柴田隆一郎、成松元治、橋谷田博、山田卓史、川瀬鉄典、田中賢治、野口学：開心術後輸血後肝炎の予後、*日本心臓血管外科学会雑誌*、20(3)、595-596 (1990)
8. 山田卓史、中村徹、中山博司、吉田登、森理比古、石野徹、石川啓、富田正雄、米満伸久：消化管出血で発見した三重複悪性腫瘍の 1 例、*消化器外科*13(9)、1573-1578 (1990)
9. 高木正剛、藤井卓、柴田隆一郎、成松元治、渡辺良子、橋谷田博、山田卓史、田中賢治、野口学、川瀬鉄典、釘宮敏定：開心術施行例に於ける Cefuzonam sodium の心組織への移行性検討、*化学療法*の領域7(7)、1357-1363(1991)
10. 藤井卓、高木正剛、山内秀人、柴田隆一郎、成松元治、渡辺良子、釘宮敏定：上肢静脈血栓様症状で発症した劇症 *Aeromonas hydrophila* 敗血症の 1 例、*日本救急医学会雑誌*、2(6)、933-937 (1991)
11. 山口博一郎、古川正人、中田俊則、草野敏臣、林弛欽、田代和則、渡部誠一郎、藤尾俊之：外傷性脾損傷の臨床的検討、*胆と脾*、12(6)、799-802 (1991)
12. 山内秀人：低心拍出量状態に対するノルエピネフリン・血管拡張薬併用療法、POB、ニトログリセリンを用いた実験的検討、*血管*15(2)、95-107 (1992) ○
13. 高木正剛、藤井卓、山内秀人、柴田隆一郎、成松元治、橋谷田博、山田卓史、釘宮敏定：胸骨下経路による鎖骨下一大動脈バイパス、*外科治療*33(3)、352-353 (1992)
14. 渡辺良子：開心術症例における輸血後肝炎の遠隔期予後、*日本輸血学会雑誌*38(5)、607-612 (1992) ○
15. 岡留健一郎、宮内好正、釘宮敏定、古賀保範、島津久明、大石喜六、伊藤翼、杉町主藏：慢性動脈閉塞症に対する Lipo PGE₁ および経口抗血小板剤の併用療法の検討、*臨牀と研究*69(11)、3655-3662 (1992)
16. 山口博一郎、馬場尚道、草場英介、松尾和彦、永尾修二、岩松みよ子、中田俊則、松岡陽二郎、森川実：胸部外傷 142 例の臨床的検討、*医療*、46(4)、246-251 (1992)
17. 山田卓史、高木正剛、藤井卓、成松元治、山口博一郎、田中賢治、野口学、山中淳、釘宮敏定：虚血性心疾患および慢性動脈閉塞症の術後 LDL-apheresis 療法の有用性、*人工臓器*22(1)、248-252 (1993)
18. 高木正剛、藤井卓、成松元治、橋谷田博、山田卓史、釘宮敏定：Axillo-femoral bypass による大動脈縮窄症の治療経験、*日本胸部外科学会雑誌*、41(6)、1094-1098、1993。

B-b

1. 釘宮敏定、高木正剛：筋腎障害性代謝失調症候群（トピックス）、検査と技術、17(7)、1018（1989）
2. 釘宮敏定：心臓手術とインフォームド・コンセント、ハートナーシング、2(10)、1、（1989）
3. 釘宮敏定、高木正剛、藤井卓：外傷による動脈損傷（特集：末梢血管外科）、外科治療、61(4)、863-868（1989）
4. 釘宮敏定、高木正剛：心臓穿刺術と開窓術（特大号：救命救急の実際）、診断と治療、77(10)、2331-2334（1989）
5. 釘宮敏定、高木正剛、藤井卓：心臓穿刺（特集：緊急処置マニュアル）、救急医学、13(10)、1246-1249（1989）
6. 釘宮敏定、高木正剛：心臓穿刺（法）（特集：エンサイクロペディア）、消化器外科、13(6)、982（1990）
7. 釘宮敏定、高木正剛：急性動脈閉塞症の代謝性合併症（MNMS）、日本医事新報、3459、23-27（1990）
8. 釘宮敏定、林邦昭、高木正剛：心・大血管の損傷（特集：胸腹部外傷—画像診断からみた治療方針）、外科治療、63(4)、390-396（1990）
9. 釘宮敏定、高木正剛、藤井卓：心臓・胸腔ドレナージ（特集：外科臨床医のための基本手技マニュアル）外科治療、64(5)、686-690（1991）
10. 釘宮敏定、高木正剛：閉塞性動脈硬化症の臨床病態：急性増悪期における病態（特集：Up Date 末梢循環障害と動脈硬化）現代医療、23(5)、1275-1278、1991。
11. 釘宮敏定、高木正剛：長時間手術による合併症とその処置・予防：開胸術（特集：長時間手術の問題点と対策）オペナーシング6(8)、723-726（1991）
12. 釘宮敏定、高木正剛、藤井卓：解離性大動脈瘤（特集：救急看護必携）臨床看護18(7)、1033-1037（1992）
13. 高木正剛、釘宮敏定：解離性大動脈瘤破裂（特集：緊急手術アトラス）救急医学16(10)、1205-1209、（1992）
14. 釘宮敏定、高木正剛、藤井卓：感染性心内膜炎-外科的立場から（特集：心疾患と口腔領域の観血的処置）歯科ジャーナル35(2)、139-144（1992）
15. 釘宮敏定、高木正剛：腎機能低下例の手術と看護—慢性透析例を含む（特集：他科合併症患者の治療と看護）ハートナーシング5(11)、995-998（1992）
16. 高木正剛、釘宮敏定：循環補助装置（特集：救急計画法）総合臨床42（増刊）、1166-1173（1993）
17. 高木正剛、宮川尚孝、釘宮敏定：電気的除細動（特集：不整脈の治療）救急医学17(6)、689-692（1993）

B-c

1. 釘宮敏定：各種モニタ装置の利用法、今日の治療指針 32巻、東京、医学書院、105-106（1990）
2. 釘宮敏定、林邦昭、高木正剛、伊東正博：肺塞栓症および肺高血圧、新外科学大系19c 心臓の外科III、和田達雄監修、東京、中山書店、387-415（1991）
3. 釘宮敏定、高木正剛：第10章 心臓の合併症、心臓血管疾患の看護（訳書）、江口昭治監訳、新潟、西村書店、91-103（1991）
4. 釘宮敏定：肺水腫、今日の治療指針 35巻、東京、医学書院、16（1993）
5. 釘宮敏定：心臓腫瘍、今日の治療指針 35巻、東京、医学書院、330-331（1993）

原著論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	合計	総計
1989	0	0	0	0	0	0	3	5	0	0	8	8
1990	0	0	0	0	0	0	5	3	1	0	9	9
1991	0	0	1	0	1	0	3	3	2	0	8	9
1992	1	0	0	0	1	1	5	4	0	0	9	10
1993	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	6	6
総計	1	0	1	0	2	1	18	17	5	0	40	42

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合 計	B-a	B-b		合 計	総 計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
1989	0	0	4	4	0	0	13	13	17
1990	0	0	3	3	0	0	13	13	16
1991	0	0	0	0	2	0	14	16	16
1992	0	0	2	2	0	0	15	15	17
1993	0	0	2	2	2	1	20	23	25
総 計	0	0	11	11	4	1	75	80	91

原著論文総数に係る教官生産係数一覧

	欧文論文総数 論文総数	教官生産係数 (欧文論文)	SCI掲載論文 欧文論文総数	教官生産係数 (SCI掲載論文)
1989	0	0	0	0
1990	0	0	0	0
1991	0.111	0.250	0	0
1992	0.100	0.250	1.000	0.250
1993	0	0	0	0
平 均	0.048	0.100	0.500	0.050

Impact factor 一覧

	Impact factor	1 教官当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
1989	0	0	0
1990	0	0	0
1991	0	0	0
1992	0.392	0.098	0.392
1993	0	0	0
平 均	0.078	0.020	0.392